



類似施設一覧

平成30年7月18日（水）
第2回青森市アリーナプロジェクト有識者会議

NO	名称	メインアリーナ	諸室機能	
1	三沢国際交流スポーツセンター	2,080㎡ 観客席：1,808席	サブアリーナ、多目的運動室、トレーニング室、ランニングコース、多目的室、ラウンジスペース、更衣室等	
2	むつ市新体育館 (2020年度オープン予定)	1,890㎡ 観客席：2,050席	サブアリーナ、ランニングコース、カフェコーナー、キッズコーナー、ラウンジ等	
3	草津市総合体育館 (2019年度オープン予定)	2,000㎡ 観客席：2,556席	サブアリーナ、多目的室、キッズスペース、会議室、ランニングコース	
4	松江市総合体育館	2,747㎡ 観客席：3,003席	サブアリーナ、多目的ルーム、トレーニングルーム、ランニングコース	

1 三沢国際交流スポーツセンター

■ 施設概要

所在地	青森県三沢市桜町 1-1-3 8		
設置者	三沢市		
建築面積	6,394㎡	延床面積	9,460㎡ (2階)
竣工年	H29年		
開館時間	9:00~21:00	休館日	第3火曜日、年末年始
建設費	46億円		

■ 諸室機能

メインアリーナ	2,080㎡ 2階固定席976席、1階稼働席832席、(バスケットボール2面)
サブアリーナ	745.76㎡ (バスケットボール 1面)
その他	トレーニング室、ランニングコース (200m)、キッズスペース、多目的運動室、多目的室、ラウンジスペース、更衣室等
駐車場	217台 (近隣公共施設駐車台数510台)

諸室構成											ホームアリーナ (2017~2018)				
メインアリーナ	サブアリーナ	フィットネス室	トレーニング室	ウォーキングコース	幼児体育室	キッズルーム	会議・研修室	多目的室	スタジオ	宿泊施設	屋外運動広場	カフェ・売店	B1	B2	B3
●	●	●	●	●	●	●	●	●							

■ 利用料

個人利用	トレーニング室300円/回、アリーナ、多目的運動室、ランニングコース100円/午前・午後・夜間
メインアリーナ	13,000円 (全日・全面利用)

■ 事業スキーム(設置者と運営者の関係)

- 市が(一財)三沢市体育協会に運営を委託している。

■ 特徴

- 市内チームと米軍基地内チームの交流戦などスポーツを通じた国際交流を深めることを目的に整備された施設
- バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントンなどの競技において国際試合が可能な規格を満たす
- 防衛省の防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金及び特定防衛施設周辺施設調整交付金を活用。
- 施設の立地している南山地区は、アイスアリーナやテニスコートなども整備されており、スポーツの拠点となっている
- トレーニングに適した競技
オリンピック競技:バスケットボール、卓球、バレーボール、
パラリンピック競技:車椅子バスケットボール、卓球

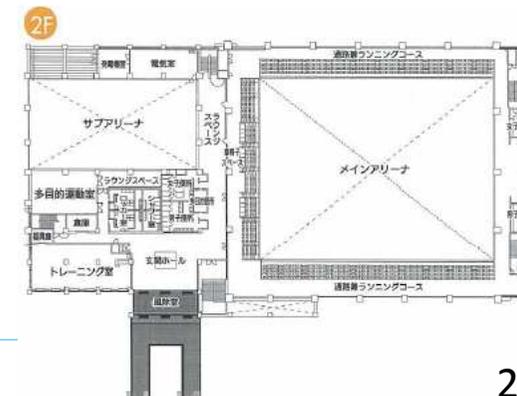
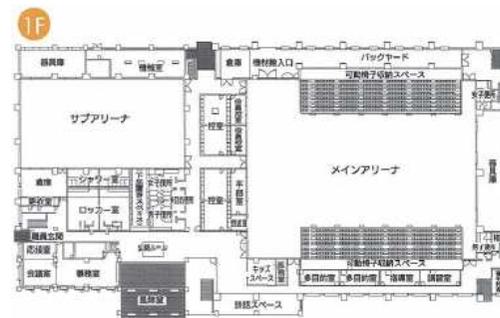
■ 利用実績

【メインアリーナ】

- B.LEAGUE青森ワッツの試合開催 (2017-2018シーズンは4試合)
- V・プレミアリーグのエキシビジョンマッチを開催

■ 交通アクセス

- 三沢駅から車で15分、三沢空港から車で20分、最寄高速ICから車で10分。



2 むつ市新体育館（2020年度オープン予定）

施設概要

所在地	むつ市真砂町93-7 おおみなと臨海公園（2020年の開園にむけて、総合アリーナ、駐車場、外構、広場等を整備中）		
設置者	むつ市		
建築面積	6,660㎡	延床面積	8,010㎡（2階）
竣工年	H32年度（予定）		
開館時間	未定	休館日	未定
建設費	40億円 ※予定価格		

諸室機能(基本設計ベース)

メインアリーナ	1,890㎡（バスケットボール2面）
サブアリーナ	1,041㎡（バスケットボール1面）
その他	観客席2,050席（固定席1,050席、可動席1000席）ランニングコース、キッズコーナー、カフェコーナー、ラウンジ
駐車場	277台

諸室構成										ホームアリーナ (2017~2018)						
メインアリーナ	サブアリーナ	フィットネス室	トレーニング室	ランニングコース	ウォーキングコース	幼児体育室	キッズルーム	会議・研修室	多目的室	スタジオ	宿泊施設	屋外運動広場	カフェ・売店	B1	B2	B3
●	●	●	●	●									●			

利用料

個人利用	未定
メインアリーナ	未定

事業スキーム(設置者と運営者の関係)

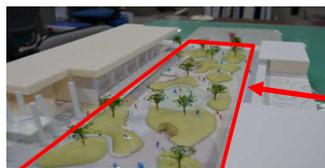
- 未定（2020年度オープン予定のため）

特徴

- おおみなと臨海公園は、H29.7に都市計画公園として指定（13.8ha）。むつ市ウエルネスパーク（屋内運動施設）、ウエルネスはらっぱる（防災緑地）、新体育館など多機能な賑わい、運動施設を整備する。
- 加えてH27.8に「みなとオアシスおおみなと」として指定され、クルーズ客船が寄港する観光拠点となっている。夏の花火大会のメイン会場ともなり、複合的な用途を持つ総合公園となる予定。新体育館の整備完了後、都市公園として開設予定。
- 公募設置管理制度（Park-PFI）の活用に向けてマーケットサウンディングを実施。新体育館内に売店もしくはカフェ等の民間提案施設を誘致し、その収益を新体育館エントランスにある広場等の整備費用の一部とする計画。
なお、体育館本体の建設については、公募設置管理制度（Park-PFI）は用いていない。

- 4つの基本テーマから整備方針を定め、ワークショップなどの市民意見を取り入れ基本構想・基本計画を策定

- 「する」「観る」「支える（育てる）」体育館
～スポーツ推進拠点～
- 地域に根差し、地域・文化交流を促す体育館
～地域文化交流拠点～
- 地域資源を活かし、多目的に利用できる体育館
～地域資源を活かし、多目的に利用できる体育館
- 安全・安心な体育館
～防災・避難拠点～

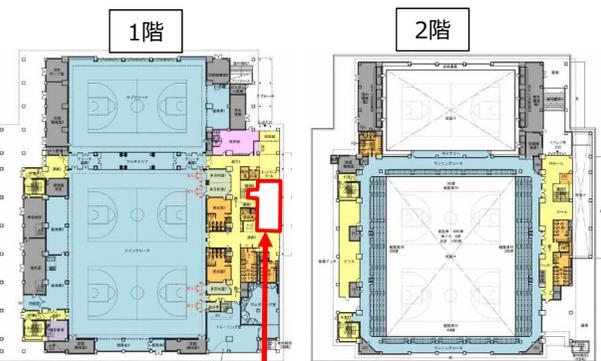


広場等のイメージ

誘致した民間施設の収益の一部を整備費に充当（特定公園施設）

交通アクセス

- 大湊駅から約1km。



民間施設の誘致（公募対象施設）



3 草津市野村公園体育館（新体育館）（2019年度オープン予定）

■ 施設概要

所在地	滋賀県草津市野村三丁目		
設置者	草津市		
建築面積	7,620.61㎡	延床面積	10,837.13㎡（2階）
竣工年	平成31年度予定		
開館時間	未定	休館日	未定
建設費	58億円		

■ 諸室機能

メインアリーナ	2,000㎡（バスケットボール2面） 観客席：固定席2,556席 ※立見席含めて最大3,500席の計画
サブアリーナ	830.5㎡（バスケットボール1面）
その他	ランニングコース、キッズスペース（47.2㎡）、会議室、多目的室（183.4㎡）、控室等
駐車場	190台

諸室構成										ホームアリーナ (2017~2018)					
メインアリーナ	サブアリーナ	フィットネス室	トレーニング室	ウォーキングコース	幼児体育室	キッズルーム	会議・研修室	多目的室	スタジオ	宿泊施設	屋外運動広場	カフェ売店	B1	B2	B3
●	●			●	●	●	●	●			●				

■ 利用料

個人利用	未定（旧体育館：不明）
メインアリーナ	未定（旧体育館：15,100円 終日・平日利用）

■ 事業スキーム(設置者と運営者の関係)

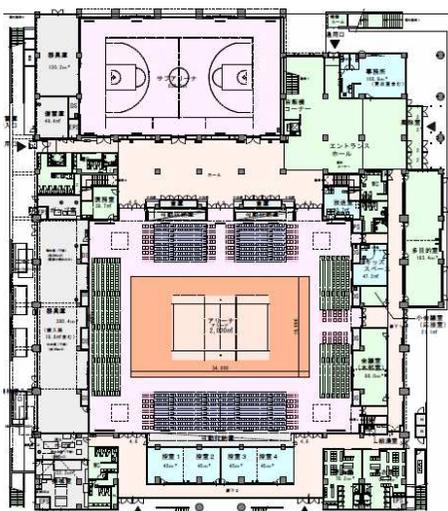
- 未定（2019年度オープン予定のため）

■ 特徴

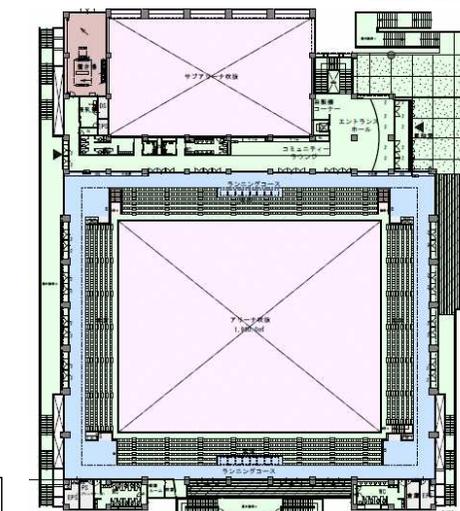
- 約7.4haの地区公園内に、新体育館及び北側駐車場を整備
- 都市公園に立地し、緑地・オープンスペースの確保、プロスポーツやイベント開催による賑わい創出、2024年の国体開催に備えた競技受け入れ（メインアリーナで、バスケットボール、バレーボールを実施予定）が目的。

■ 交通アクセス

- 草津駅西口から約850m（徒歩11分程度）。
- 最寄バス停より徒歩1分。



1階



2階

4 松江市総合体育館

施設概要

所在地	島根県松江市学園南一丁目428-1		
設置者	松江市		
建築面積	9,224.24㎡	延床面積	13,549.92㎡ (3階)
竣工年	平成28年4月		
開館時間	9:00~22:00	休館日	12月29日から1月3日
建設費	53億円		

諸室機能

メインアリーナ	2,747㎡ (バスケットボール3面) 観客席：3,003席 (固定席1,845席、移動席1,136席、車椅子：22席)
サブアリーナ	1,394㎡ (バスケットボール2面) 観客席：246席
その他	トレーニングルーム、ランニングコース、多目的ルーム (181.3㎡)、災害用備蓄倉庫等 ケーブルテレビやWi-Fiアクセスポイント設置
駐車場	400台

諸室構成											ホームアリーナ (2017~2018)				
メインアリーナ	サブアリーナ	フィットネス室	トレーニング室	ウオーキングコース	幼児体育室	キッズルーム	会議・研修室	多目的室	スタジオ	宿泊施設	屋外運動広場	カフェ売店	B1	B2	B3
●	●	●	●				●	●					●		

※Bリーグ・島根スサノオマジックのホームアリーナ

利用料

個人利用	トレーニングルーム、アリーナ1枠 300円/回
メインアリーナ	43,200円 (平日・終日・全面・アマチュアスポーツ利用)

事業スキーム(設置者と運営者の関係)

- 松江市が施設を整備し、松江市直営にて維持管理・運営

特徴

- する・みる・ささえるスポーツに対応した「市民のスポーツを推進する体育館」、避難拠点等「安心・安全なまちづくりに資する体育館」、歴史・文化的な佇まいと調和する「松江らしさを醸し出す体育館」がコンセプト。
- (公財)松江市スポーツ・文化振興財団がスポーツ教室を開催(週8教室)。
- 一般利用、協議団体利用が多いが、島根スサノオマジック(B1)のホームアリーナでもある。また、健康関連、コンサートなども実施されている。
- アスリートから市民利用まで多彩な利用に対応可能

利用実績

【メインアリーナ】

- B.LEAGUE アーリーカップ
- 全国中学校体育大会バレーボール選手権大会
- 全国中学校体育大会新体操選手権大会
- 中国学生卓球選手権秋季大会 等
- 小田和正コンサートツアー

【サブアリーナ】

- 幼稚園運動会
- 中国・四国県庁剣道部交歓稽古会
- スサノオスクール(プロバスケットチームのスクール) 等

【多目的ルーム】

- ヘルスヨガスクール
- ピラティススクール
- 極真会教室 等

交通アクセス

- 松江駅から徒歩20分。
- 最寄バス停より徒歩3分。

